

新青年部長に聞く！

●就任にあたり

長く厳しい冬も終わりを迎え、春の暖かな日差しを肌身を感じる季節となりました。盟友ならびに組合員の皆さま方におかれましては、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。

この度、75 回定期総会において青年部長という大役を仰せつかることになりました。私自身、大変微力ではございますが、役員一同、心をひとつにし、皆さまのご協力のもと精一杯務めさせていただきますと思います。



早苗 晃平

●青年部長として今年度の活動の抱負は

ほかの農協青年部に比べると小規模で、年々部員が減少している状況ですが、少人数だからこそ部員間の距離が近く、より強い絆が築けていると思います。その絆を胸に、地域に貢献できるよう活動を進めていきたいです。

昨年度には規約の改定を行い、年齢制限を撤廃しました。これまでは 35 歳を上限としていましたが、任意の年齢まで在籍できるように組織体制の見直しを図りました。

めまぐるしい変化の中、青年部として「今」何が求められ、何ができるのかを皆で話し合い、これまでの反省点を踏まえながら意義のある事業を展開していきたいと思います。

●若い部員に対し先輩としての期待や要望は

青年部は年齢を問わずに交流や情報交換が行える非常によいコミュニティです。仲間との交流の中には、営農技術を高めるためのヒントや新たな可能性を見出すアイデアが数多く詰まっています。また、一生涯の仲間をつくることは、地域農業の活性化や結束力の向上につながると思います。

そして、個人ではなかなか得られない達成感や感動を多く味わうことができます。そのような観点からも、青年部活動に進んで参加していただけると幸いです。

●モットーは

両親をはじめ、農業に従事している方々と積極的にコミュニケーションを取り、柔軟に仕事を進めていくことをモットーにしています。営農する中で力不足を感じることも多いため、様々な意見を参考にしながら成果をあげていきたいと考えています。

人間関係においては、明るく思いやりの気持ちを持って接することを心がけています。青年部長としても、仲間たちの気持ちを最優先に考えながら務めていきたいと思っています。

●これからの農業について

農業を取り巻く環境は厳しさを増しております。気候変動がもたらす作物の品質低下や生産コストの高止まりなど、先行きに対する不透明感は依然として強いものがありますが、決して悲観することなく、地に足をつけた堅実な経営が重要であると考えます。

私たち若手農業者には、各々が明確な「意識」や「知識」を持ち、行動していくことが求められていると思います。これから先、様々な困難があるかと思いますが、食卓を支える使命があるという自覚を持ち、立ち向かっていきたいです。

青年部定期総会

3月3日、青年部（塚本成貴部長）の第75回定期総会が開催されました（13名が出席）。開会にあたり、出席者による「青年部綱領」の朗唱、青年部長の挨拶と続き、来賓の方々より祝辞をいただきました。

総会は松田一亮さんにより議事が進められ、「規約の改正」を含む議案第1号から第5号までが原案どおりに承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、早苗晃平部長、五嶋幹副部長による新たな執行体制が発足しました。



終了後には来賓の方々と青年部員による懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。